

液体水素(-253℃)に用いる
極低温用標準白金抵抗温度計
NSR-13K-1000

The Origin
Of All
Engineering

※温度係数1.3851のPt1000Ωも製作可能です。

—温度センサの会社です。～ホームページをリニューアルしました!!—

ネツシンは、Ptセンサのトップメーカーとして温度センサの原点である白金測温抵抗素子を独自の技術で研究開発に特化し、自社ブランド力の強化に力を尽くし、“縁の下の力持ち”として信頼される企業を目指し社会貢献して参ります。

—ネツシンに関わる全ての皆様方に心より感謝申し上げます—

NETSUSHIN
Ptセンサのトップメーカー

新しくなったホームページを一度ご覧ください。
<https://www.netsushin.co.jp/>

**原点
技術**

圧力計測のグローバルスタンダード

AV-02型
重錘型圧力天びん

PD66
高精度油圧用
重錘型圧力天びん

GC15-GC16
精密デジタル圧力計

GC04
高精度電池式
デジタル圧力計
(本体正面φ70)

長野計器グループは、計量法に基づく 圧力の国際MRA認定事業者です。

長野計器グループは、国際相互認証MRA/JCSS認定事業者として、
計量・計測の根幹の一つである圧力の標準を、幅広い業界のお客様へ提供しています。

長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)・株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)・株式会社双葉測器製作所 校正室(JCSS0094)は、認定基準としてISO/IEC17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。

IA-MRA IAJapan JCSS 0080
長野計器

IA-MRA IAJapan JCSS 0143
ナガノ計装

IA-MRA IAJapan JCSS 0094
双葉測器製作所

[本社]
〒143-8544 東京都大田区東馬込一丁目30番4号
TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
<https://www.naganokeiki.co.jp/>

[本社/東京営業所]
〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号(長野計器ビル)
TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238
<https://www.nagano-keiso.co.jp>

[本社]
〒116-0012 東京都荒川区東尾久八丁目21番14号
TEL 03-3894-6848 FAX 03-3800-8155
<https://www.futabass.co.jp/>

有力企業の製品・技術 順不同

ネツシン

ネツシンは温度計測の原点である白金測温抵抗素子を独自の技術で研究開発し、世界最小級、最薄型の温度センサーを供給している。多様な場面で高精度の温度管理が要求される中、あらゆる温度を素早く正確に把握する技術で産業や社会の発展を支えている。

半導体関連では半導体の高密度化、微細化とともに、僅かな温度変化を捉えられる点を強みに顧客の信頼を獲得。今後はエネルギーと環境関連にも注力する。水素が液化する-253℃以下でも高精度に温度を計測できる技術を持つ。脱炭素やサプライチェーン(供給網)強化などで需要が見込まれる中、極低温領域での事業拡大を図る。

大手技研

大手技研の校正サービスは、メーカーを問わず国内外のあらゆる測定機器を受け付けているのが特徴。独立系の校正事業者として、圧力・質量・温度・気体流量・電気の校正業務を担い、流量を除く4分野では、国際相互承認された国際MRA対応のJCSS認定事業者として校正サービスを提供している。中でも圧力校正は国家標準と同等水準の特定二次標準器を有する第一階層の校正事業者として、業界トップレベルの校正品質を誇る。

また被校正機器が要求する精度や不確かさを満たさない場合に、顧客の希望に応じて機器の調整サービスを提供する。調整・修理を含む校正をワンストップで対応できる強みを持つ。

11月1日 計量記念日

品質保ちフェアな取引

計量は科学の基本となる。例えば百貨店では、国家資格である計量士が所属しており、店内の社会生活に大きな影響を与える。計量の基準を定め、適正な計量を確保することは、日常の生活を守り、経済を発展させるために不可欠である。

計量とは長さ、質量、時間、体積などを特定の基準を用いてはかり、その値を導き出す行為を指す。計量法は「計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保し、もって経済の発展及び文化の向上に寄与すること」(第1条)を目的とする。

特に経済活動においては、お互いが共通で正確な「物差し」を用いなければ、フェアな商取引は成立しない。水道や電気、ガス、食品、燃料など、正しく量られていることを前提に料金が算出される。

校正で正しさを確認

現場で使用する計測づく制度であり、計量器や計量器が本場に正器に對して国家計量標準に準じた校正ができ「校正」も重要だ。校正は高精度の標準器を、その校正技術能力が試される。計測器や計量器は経年劣化などにより誤差を生じる場合がある。計測器・計量器を通して製造された自社製品の品質・仕様の確保のために、JCSS校正などを活用して定期的な校正を実施したい。

内々の自社製品や持ち込まれた他社製品に對して校正を行い、校正結果によってJCSS標準を付した校正証明書が発行できるようになる。

計測器や計量器は経年劣化などにより誤差を生じる場合がある。計測器・計量器を通して製造された自社製品の品質・仕様の確保のために、JCSS校正などを活用して定期的な校正を実施したい。

計量への意識向上

日本計量振興協会は、計量啓発全国統一ポスターや計量普及広報誌「計量のひろば」の製作・配布に取り組んでいる。そのほか、3点が優秀作品賞、1点が北森俊行賞、7点が奨励賞に選ばれた。同コンテストは参加者が「はかってみよう(コンテスト)」を実施

「計量記念日は、計量器や計量器は経年劣化などにより誤差を生じる場合がある。計測器・計量器を通して製造された自社製品の品質・仕様の確保のために、JCSS校正などを活用して定期的な校正を実施したい。」

「計量記念日は、計量器や計量器は経年劣化などにより誤差を生じる場合がある。計測器・計量器を通して製造された自社製品の品質・仕様の確保のために、JCSS校正などを活用して定期的な校正を実施したい。」

「計量記念日は、計量器や計量器は経年劣化などにより誤差を生じる場合がある。計測器・計量器を通して製造された自社製品の品質・仕様の確保のために、JCSS校正などを活用して定期的な校正を実施したい。」

For Earth, For Life

Scale Up Tomorrow

「はかる」で社会を支える、未来を変える。

クボタのはかり事業は、2024年に100周年を迎えました。

長年の歴史で築き上げた“正しくはかる”技術で、社会の発展に貢献し続けてきたクボタ。

“正しくはかることへの原点回帰”をコンセプトに、開発した新型指示計KS-T100を発売しました。

KS-T100と共に“はかる”の新しい価値を創出し、次の100年へさらなる飛躍を目指します。

100周年記念製品
デジタルロードセル用指示計 KS-T100

クボタはかり事業100周年

株式会社クボタ 精密機器事業ユニット

国産・海外製を問わずあらゆるメーカーの計器を校正します。

大手技研では、圧力・質量・温度・気体流量・電気 の5分野の校正を提供。圧力・質量・温度・電気 の4分野ではILAC-MRA 対応の JCSS 校正が可能です。圧力校正については、国家標準と同等水準の特定二次標準器を有する第一階層の校正事業者として、業界トップレベルの校正技術を提供しています。

圧力 JCSS校正 一般校正
重錘型圧力天びん
デジタル圧力計
機械式圧力計
液柱形圧力計

校正範囲
JCSS: 気体圧力 -90kPa ~ -10kPa
10kPa ~ 7MPa
液体圧力 100kPa ~ 400MPa
一般: 気体圧力 -95kPa ~ -10kPa
100 Pa ~ 100MPa
液体圧力 100kPa ~ 500MPa

質量 JCSS校正 一般校正
OIML 型分銅 (F2級、M1級、M2級)
規格外分銅・おもり

校正範囲
JCSS: 分銅 1mg ~ 10kg
おもり 1mg ~ 15kg
一般: 1mg ~ 15kg

電気 JCSS校正 一般校正
直流・低周波測定器等
電気計測器(電圧、電流、抵抗等)
時間計測器(周波数)

校正範囲
JCSS: 直流電圧 10mV ~ 100V
直流電流 100μA ~ 100mA
直流抵抗 10Ω ~ 100MΩ
一般: 直流電圧 10mV ~ 100V
直流電流 100μA ~ 1A
直流抵抗 1Ω ~ 100MΩ
周波数 10Hz ~ 100kHz

気体流量 一般校正
面積式流量計、石炭膜流量計、湿式ガスメータ、マスフローメータ、マスフローコントローラ

校正範囲・ガス種
窒素: 1 sccm ~ 100 slm
空気: 1 sccm ~ 100 slm
ヘリウム: 10 sccm ~ 100 slm
水素: 20 sccm ~ 200 slm
アルゴン: 5 sccm ~ 80 slm
SF₆: 1 sccm ~ 6.2 slm (六フッ化硫黄)

温度 JCSS校正 一般校正
指示計器付温度計、測温抵抗体温度計

校正範囲
JCSS: 0℃ ~ 100℃
一般: -40℃ ~ 600℃

その他サービス
・出張校正
・引取り/配送サービス
・年間契約/一括契約
・機器管理代行サービス
・校正シール発行サービス

調整・修理が必要な場合も
ワンストップで校正サービスをご提供します

株式会社 大手技研
本社: 茨城県つくば市観音台1-25-12
関西営業所: 兵庫県明石市松の内2-1-8 50ヤングビル6F
テクノロジーセンター: 茨城県つくば市観音台1-25-12

TEL: 029-839-0777
TEL: 078-926-1178
TEL: 029-839-0778

<https://www.ohtegiken.co.jp>

Sureであること



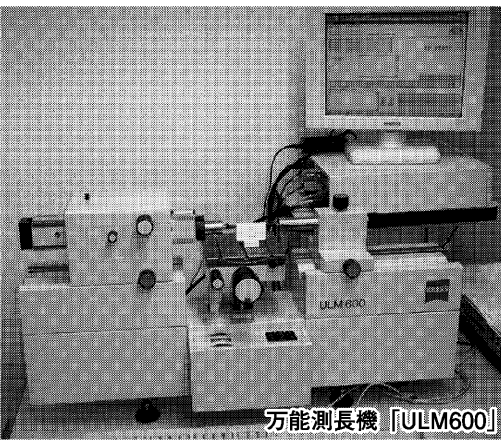
当社は認定基準としてJIS Q 17025 (ISO/IEC 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSLの下で認定されています。

JCSSLを運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

当社は国際MRA対応JCSSL認定事業者です。JCSSL 0188は当標準室の認定番号です。

校正は当社にお任せ下さい		
【長さ】	マイクロメータ・ノギス	
【電気(直流・低周波)】	ブロックゲージ (比較測定法による)	
直流電圧発生装置	交流電圧発生装置	
直流電流発生装置	交流電流発生装置	
直流抵抗発生装置	交流抵抗発生装置	
直流電圧測定装置	交流電圧測定装置	
直流電流測定装置	交流電流測定装置	

http://www.houei.jp E-mail info@houei.jp



万能測長機「ULM600」

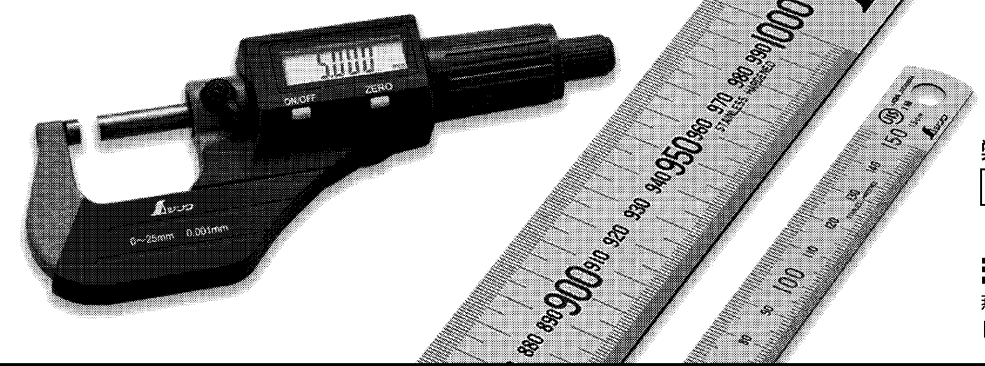
電子計測器・度量衡の校正
株式会社 宝 栄
 栃木県宇都宮市宝木本町1192-27
 TEL.028-665-4494 FAX.028-665-4495
 キャリブレーションセンター
 栃木県宇都宮市石那田町140-3
 TEL.028-678-5445 FAX.028-665-5667



シンワ測定株式会社 品証部は、国際MRA対応JCSSL認定事業者です。JCSSL 0092は、シンワ測定株式会社品証部の認定番号です。



国家基準の校正力で 確かな測定をサポート



弊社JCSSL校正サービスの対象
 直尺、鋼製巻尺、ノギス、外側マイクロメーター
 詳しくはお問い合わせください

シンワ 測定株式会社
 燕物流センター／〒959-1276 新潟県燕市小池3481
 【営業部】 TEL.0256-63-8130(代) FAX.0256-63-8132

シンワ測定

シンワ測定はJCSSLの登録事業者である。同社品証部は多国間で相互認証する国際MRA対応の「長さ」区分JCSSL登録事業者として、直尺、鋼製巻尺、ノギス、マイクロメーターといった計測器の校正サービスを行う。同社発行の校正証明書は相互承認署名機関・国の間で同等の校正証明として受け入れられる。

また同社は長さの計測器だけでなく、角度や温度など、幅広い分野をカバーする計測器メーカーであり、創業以来はかかるものへのエキスパートとして実績を伸ばしてきた。「はかる」のその先を創造し、持続可能な社会の発展に貢献すること」を使命にしている。

宝 栄

宝栄は電子測定器や度量衡、圧力計などの校正、レンタル・リース、電気設備施工を手がけている。

多国間で相互認証する国際MRAに対応したJCSSLの認定事業者として、「電気(直流・低周波)」に関わる各種の校正事業を拡充している。

既存の登録認定である直流・交流の電圧・電流・抵抗のそれぞれ発生装置と測定装置が認定されている。

これにより各種ニーズにワンストップで対応していく。将来は温度や圧力、質量なども対象にできるよう、登録認定の追加を目指す。

クボタ

クボタのはかり事業は1924年に衡機制作免許を取得し、製作を始めて今年で100周年の節目を迎えた。これを期に「正しくはかることへの回帰」をテーマに記念製品として新型デジタルロードセル用指示計を発売した。51年には戦後の高度成長期の中、日本初のインゴットスケールを製鉄会社へ納め、国づくりに必要な鉄鋼、セメントなどの増産体制を支えた。またオイルショック後は自動車、化学、エネルギーなど個人消費向けの大量生産を下支えしてきた。

現在では、計量・計測技術を基軸に、さまざまな産業で求められる自動化・省力化・デジタル変革(DX)化による生産性向上や、高精度計量による品質向上などのニーズに応えている。

長野計器

長野計器は圧力計や圧力センサー、温度計などの計測器の開発、製造、販売を手がけている。

品質保証部門は1998年、圧力部門で最初のJCSSL認定事業者となった。「重錘形圧力天びん」「デジタル圧力計」「機械式圧力計」の3種類でJCSSL校正業務を担う。

同社のJCSSL校正事業の校正範囲に差圧校正が加わり、気体差圧5MPa以上200MPa以下の校正が可能。それ以外のJCSSL校正範囲は絶対圧力10MPa以上350MPa以下、ゲージ圧力(負の気体圧力)が80MPa以上、810MPa以下、ゲージ圧力(正の気体圧力)が10MPa以上7MPa以下。一方、ゲージ圧力(正の液体圧力)は1MPa以上500MPa以下。